

資料3-1

下水道技術開発会議におけるこれまでの検討内容

下水道技術開発会議の検討課題

- ◆ 活動の柱①「技術ニーズの把握と発信」
 - ・事業主体の技術的課題の調査
 - ・各種会議(本省、地方)における技術的課題、技術情報の活用 等
- ◆ 活動の柱②「技術シーズの把握と発信」
 - ・技術提案募集とロードマップへの反映
 - ・国内技術情報(学会等)の検索システム
 - ・海外情報(情報源)の提示
- ◆ 活動の柱③「ニーズとシーズの架け橋」
 - ・技術相談窓口の提示(各機関のQ&Aコーナーの活用等)
 - ・意見交換の場(SNS等)の設置
 - ・重要な技術開発テーマ・要求性能の提示 等
- ◆ 活動の柱④「国などの技術情報の共有」
 - ・B-DASHや各種技術の情報源情報の集約・発信
 - ・共通的な技術課題の継続的評価と成果の発信 等
- ◆ 活動の柱⑤「地方の技術開発・技術導入の支援」
 - ・技術導入実績の情報開示
 - ・都市や支援主体の共同研究等の情報収集と公開
 - ・小都市向けの技術開発、普及支援の方策の検討
 - ・先進的事例、技術開発の手順の提示 等
- ◆ 活動の柱⑥「技術開発の戦略・方針の提示」
 - ・技術ビジョン・ロードマップのフォローアップ
 - ・ロードマップ重点課題など、重点化して実施すべき技術開発テーマの提示
 - ・技術開発・普及の各支援制度の評価
 - ・各支援制度や関連施策に関する提言 等

令和3年度の検討内容 #1

- ◆ 令和3年度の下水道技術開発会議では、下水道技術ビジョンのフォローアップの一環として以下を実施
 - ◆ 活動の柱①「技術ニーズの把握と発信」
 - ✓ 下水道事業における技術的な課題・ニーズの調査、分析
⇒ 下水道技術開発レポート2021 第2章(1)～(2)参照
 - ◆ 活動の柱②「技術シーズの把握と発信」
 - ✓ 技術シーズ調査として、下水道革新的技術の実証テーマ等を募集
⇒ ロードマップ重点課題の選定に活用
 - ◆ 活動の柱③「ニーズとシーズの架け橋」
 - ✓ 技術ニーズ、シーズの情報共有のあり方の検討として、課題チェックシートを作成、地方公共団体から意見聴取
⇒ 下水道技術開発レポート2021 第2章(3)参照
 - ◆ 活動の柱④「国などの技術情報の共有」
 - ✓ B-DASH普及展開状況の調査・公表
⇒ 下水道技術開発レポート2021 第4章(1)参照

令和3年度の検討内容 #2

- ◆ 活動の柱⑤「地方の技術開発・技術導入の支援」
 - ✓ 省エネ運転方案の普及策の検討
⇒ 下水道技術開発レポート2021 第4章(2)参照
 - ✓ B-DASH普及展開状況の調査・公表【再掲】
 - ✓ 下水道事業における技術的な課題・ニーズの調査、分析【再掲】

- ◆ 活動の柱⑥「技術開発の戦略・方針の提示」
 - ✓ ロードマップ重点課題の選定
⇒ 下水道技術開発レポート2021 第3章(1)参照

1. ロードマップ重点課題 (短期～中期課題)

- ◆ 技術目標① 1 人口減少時代に適した施設整備・管理
- ◆ 技術目標② 2 施設管理の迅速化・低コスト化のための技術開発等
- ◆ 技術目標③ 2 大規模地震を対象とした耐震対策手法、優先度評価手法、
③ 4 大規模地震・津波等の非常時の段階的な応急処理方法、
優先度評価手法
- ◆ 技術目標④ 1-1 局所的豪雨等に対応した雨水管理技術
- ◆ 技術目標⑤ 4 不明水の実態把握、影響評価と有効な対策の確立
- ◆ 技術目標⑦ 4 病原微生物の制御、⑦ 5 病原微生物の検出、監視システム
- ◆ 技術目標⑨ 1 下水道で地域バイオマスを利活用する技術
- ◆ 技術目標⑩ 3 下水資源を活用したエネルギー生産技術
- ◆ 技術目標⑪ 1 下水道の消費エネルギー約1割削減に向けた技術

2. ロードマップ重点課題 (中期～長期課題)

- ◆ 技術目標⑨ 3 リンなどの有用資源回収、⑨ 5 下水灰の肥料化
※技術目標の番号は、下水道技術ビジョン・ロードマップの番号と対応

令和3年度の検討内容 #3

◆ 活動の柱⑥「技術開発の戦略・方針の提示」続き

✓ ロードマップの改定

⇒ 下水道技術開発レポート2021 第3章(2)参照

最近の技術動向を踏まえ、以下の通り改訂

改定 時期	ロードマップ該当箇所	ロードマップの見直し・追記事項
R4.3	⑤雨水管理 (雨水利用、不明水対策)	課題6を、参考から正式な課題と位置付け 技術開発項目6-2として「貯留水のオンサイト処理など、合流改善対策の低コスト化を図る技術の開発」を追加する。 技術開発項目6-1について、応用研究、実証研究の追加等